

東区 E 産探求プロジェクト

第 3 回まちあるき（通船川コース）参加レポート

開志専門職大学 佐藤拓磨

今回、令和 7 年 11 月 1 日（土）に開催された「東区 E 産探求プロジェクト 第 3 回まちあるき（通船川コース）」に学生記者として参加させていただきました。当日は少し天気が悪く、肌寒い空気が流れていたのが心配していましたが、全体を通して東区の新しく発見した魅力、歴史について触れることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。そんな「まちあるき」に参加してみての感想をレポートとしてお届けします。ぜひ最後までご愛読いただければ幸いです。

第 1 回の「北国街道コース」、第 2 回の「臨港貨物線コース」と続いて、第 3 回は「通船川」を中心とし、成り立ちから現代までの歴史について学修するコースとなりました。私は地元が山形県ということもあり、「通船川」に関してはあまり詳しくない立場です。そこで「通船川」について個人的に調べてみました。

水源を阿賀野川に持ち、新潟市東区を流れる 8.5km の通船川。その名の通り船が行き交い、江戸時代には新潟湊の繁栄を、近代以降は製紙・製材など地域の工業を支えました。さらに、昭和には流域を水害から守る防災の役割も持つようになった「働く川」だったのです。—新潟の地域文化を紡ぎ繋げる 新潟文化物語

（引用:[file-145 信濃川と阿賀野川を結ぶ、川の街道・通船川（前編）](#) - 新潟文化物語）

「新潟文化物語」から窺える特徴として、江戸時代から新潟県の産業を支える運河であるということがわかりました。工業、産業として言われている東区の背景には長い歴史の持つ文化であることを知りました。

1. 臨港埠頭

最初に訪れたのは「臨港埠頭」です。日本で唯一私有港湾であり、管理、運営は「株式会社リンコーコーポレーション」が行っています。主な資源としてティッシュやハガキの元となっている製紙原料や木材などを取り扱っています。また資源を保管する倉庫もあり、雪が積もった際に除雪のために使用する融雪用の塩化カルシウムが大量にありました。

天候が悪く、バスの中からの見学でしたが、見渡す限りの広々とした港でここから中国な

どの貿易を行っている点に衝撃を受けました。また倉庫の中には製紙原料の他、電車の車両の中に整備されているエアコンの一部が保管されていることに新しい発見ができた実感しました。

新潟市東区に貨物と資源を通じてこの土地を支えている企業があることを学び、大変勉強になりました。

2. 山の下閘門排水機場



（山の下閘門排水機場）

「山の下閘門排水機場」は昭和 39 年に起こった新潟地震による浸水被害から復旧事業により建設された施設です。レオナルド・ダ・ヴィンチが考案したとされる両開き式の水門を取り入れ、二重に設置した閘門は、かつては、新潟西港から通船川の県営貯木場へ輸入木材を水路で運ぶ光景が見られました。

施設から見た景色は「通船川」が広く、24 時間体制で水位を調整していることに衝撃を受けました。

3. 通船川沿いをまちあるき



(通船川沿いのやけしまばし)

「山の下閘門排水機場」の見学を終えた後、「通船川」に沿ってまちあるきを行いました。通船川沿いから見える景色は自然や工場などの街並みが目立っており、ノスタルジックな感じがしました。



(通船川沿いの景色)

かつては、輸入木材を運搬するという側面を持ちつつ、自然としての温かさのあった「通船川」は東区の発展に大きく貢献しているような部分に感銘を受けました。

4. 新潟合板振興株式会社



(新潟合板振興株式会社の合板)

「新潟合板振興株式会社」では合板が造られるマツやスギ、ヒノキの原木の置かれている施設や工場の中を見学しました。施設や工場の中は原木を運ぶためのローダーや原木を「かつらむき」のように削って薄い板にするロータリーレースなどあり、原木から合板完成までの流れを見させていただきました。



(原木を運搬するローダー)

また工場の中には原木を浮かべて移動させる水槽があり、長く使われていた歴史が感じられる雰囲気となっており、まるで映画やドラマの世界に入った感じがしました。工場として合板を作るまでの難しさに加え、不思議な空間に包まれた心地がしました。



(新潟合板振興株式会社の工場内部)

参加してみての感想

今回の「東区E産探求プロジェクト 第3回まちあるき（通船川コース）」に参加して東区の新しい魅力についての発見と知見を得ることができました。特に「通船川」について新潟県に船を通し、資材などを運ぶ川があるということは初めて知る機会となりました。山形県出身の私にとって、自然を活かすのみではなく、自然を材料として工業の力で人々の生活に役に立てる部分は特に印象に残りました。また東区の産業面での強みについて勉強させていただいた一日でもありました。地域活性化に向けた取り組みなどを行う機会があれば、今日学んだことを活かしていきたいと思います。

今回のまちあるきを通じて、地域の魅力や歴史を知ることや勉強することの大切さを改めて学びました。

このレポートを読んで興味を持った方は、ぜひ参加してみてください。